

令和6年7月9日 小方まちづくり特別委員会 議事録
14時10分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 小田上 尚典

副委員長 細川 雅子

委員 中野 友博、豊川 和也、小出 哲義、末広 天佑、藤川 和弘、
中川 智之

○欠席委員 なし

○小田上委員長 皆様、お疲れのところ、引き続きお願いいたします。

定足数に達しておりますので、ただいまより小方まちづくり特別委員会を開会いたします。

それでは、議事日程に従って進めさせていただきます。

日程第1、視察先についてを議題といたします。

前回開催した委員会で決めました各2班から視察先の資料が提出されてますので、それぞれ発表していただいて、どうしてこういうところを視察するのか、何で選んだのかとか、そういう点を説明いただきながら、簡単に質疑応答をしていただいて、どういうところを見るべきかという点をしっかり出していって、その後、本当にここでいいのかというのを決めて、具体的に日程をどうしようかという話に移っていきたいと思います。

暫定的に、前回の委員会で中野班、末広班みたいな言い方をしてましたけど、このままで大丈夫ですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 それでは、末広班、説明をお願いします。

○末広委員 資料を開いていただきましたか。それでは、サイドブックに掲載している資料を基に発表させていただくんですが、基本的にはこの資料どおりに行くので、私と同じ班の方は、補足があれば、後でしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

末広班のほうを先に発表させていただきます。

1件目がサザンセットとうわ、周防大島町の道の駅です。こちら、陸上競技場、総合体育館が併設されていて、こちらと連携しながら各イベントが定期的で開催されているので、そういった運営だったりを参考にできるのではないかなど。大竹市もスポーツ施設はつくるといことで、そういうイベントなんかも、どういうものがやられてるかとか、大きいイベントもされてるみたいなので、そういったところの運営について学べるのではないかなど、ここを選ばせていただいています。

あと、この説明の一番上にありますけれども、企業支援と新たな魅力創出を目的に、チャレンジショップを、試験的に店舗を短い期間で置くような形で募集されてるそうです。そういうのを挑戦的に活用して飲食業の開業を手伝ってるみたいなので、そういうのも参

考にできるのではないかなと思います。

2件目がソレーネ周南です。こちらは、前からちょこっと挙がってました防災道の駅として認定された道の駅で、道の駅を建設する上で防災の視点は欠かせないということで、広島県では東広島市の道の駅が防災道の駅に認定されてますけれども、防災道の駅に認定されるか、されないかはまた別の話ではあるんですが、防災の視点は必ず必要なので、その運営も含めて参考にできるのではないかなと思いますので、候補として挙げさせていただいています。

3件目が萩しーまーとです。トップクラスの人気を誇るということで挙げさせていただいてるんですけども、いろいろ資料を読んでたら、こちら、建設する際のコンセプトが、地域住民をメインターゲットに置いた経営モデルだと。それをずっと曲げずに、今もされてるそうです。

大竹市も基本的には地元の方々に向けた施設をつくりたいという思いがあるとお聞きしているんで、大竹市は両隣に大きな観光都市があってもなかなか難しいところではあるんですけども、どういうふうに萩しーまーとは地元住民をメインターゲットに置いた経営をされてるのかというところは、参考になるのかなと思います。

4件目が、佐伯総合スポーツ公園と岩国運動公園なんですが、ここはお隣同士ですよ。説明のところに書かせていただけてますけど、この2件、一部指定管理先が一緒です。結構にぎわってるという話も聞いてますので、ここと競争というか、共生を図るために、お隣同士ですからあまり競争し合わずに、お互い高めていくような施設にするにはどうしたらいいかというところで、指定管理先も一緒なので、その話を聞ければなと思って挙げさせていただけてます。見に行かなくても、お話を聞ければなとは思っているんで、機会があればなと思います。

最後が道の駅阿武町、これはもう書いてるとおり日本初の道の駅です。もう30年経営されてます。3年前ぐらいにリニューアルを1度されていて、この30年の苦勞、続けられてきた実績があるので、そこは参考になるのではないかなと思って選ばせていただきました。

私からは以上です。補足があればお願いします。

○小田上委員長 末広班、補足ございますか。よろしいですか。

ありがとうございます。では、中野班のほうから何か質問等があればお願いします。無理にひねり出さなくても大丈夫です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 それでは、中野班の説明をお願いします。

○中野委員 よろしくをお願いします。

視察先選定資料ということで提出させていただいております。こちらのグループでは、6月26日水曜日に打合せを行い、各委員からの道の駅の提案ということで提出していただきました。1ページ目から御説明させていただきます。

何個か候補があったんですが、近隣、日帰りで複数箇所を回れるということも念頭に置いて、プランAとプランBという形で、今考えております。

資料を開いていただいて1ページ、2ページ、道の駅センザキッチン・萩しーまーとが

プランA、プランBがまるくる大野・豊平どんぐり村という形で、今考えております。

まず、1ページ目、道の駅センザキッチンなんですが、やはり、人気の道の駅というのがどういうコンセプトを掲げてるのか、どういった形で人が関わってるのかというところの成功事例をしっかりと研究したいという思いから、私が提案させていただきました。

この道の駅センザキッチンは、道の駅最強ランキングという雑誌で、中国・九州・沖縄エリアの260の道の駅の中から1位に輝いている、非常に人気の道の駅となっています。食べる・遊ぶ・つなぐの3つを特徴に持つ交流拠点施設ということで、食事もできるし、子供たちが屋内で遊ぶこともできる。この遊ぶ場所も、東京おもちゃ美術館という、その専門のプロフェッショナルの方が来られて設計されたということが1つ特徴になって、本当にどの世代でも楽しめる道の駅という形で、今運営されているそうです。

指定管理者が、市とJA長門大津、深川養鶏農協、山口県漁協の4者が200万円ずつ出資して、地域商社という形で合同会社が運営されているということで、行政単独ではなくて市内の各事業者との連携という形でも、非常に参考になるのではないかなというところで選定させていただきました。

道の駅を運営するに当たって、よく誰がキーパーソンになるのかという話が出てると思うんですが、ここも全国の公募から選ばれた山本COOが着任されて、ブランディングであったり情報発信、企画というキーパーソンがいらっしゃるということで、やはり人気の道の駅というのは何が外せない要素なのかというところをしっかりと研究したいという思いで、この道の駅センザキッチンを提案させていただきました。

その道の駅センザキッチンの近く、もう一件ということで会議中に調べて出たのが、末広班でも出ましたが、道の駅萩しーまーとです。こちらは平成27年2月に、全国のモデル道の駅として、国土交通大臣から認定された道の駅になっています。

特に、萩市周辺は非常に道の駅が多い地域なんですけど、その中でも画像の真ん中左側、子供たちの魚のつかみ取り体験であったり、その地域での特性を生かした企画運営をされている。また、情報発信にも力を入れてるというところで選ばせていただきました。

近隣には桜であったり、公園であったりというところで、ここだけではなく近隣施設、観光資源とのつながり、組立てというところも非常に参考になるのかなと思い、プランAがこの道の駅センザキッチン・萩しーまーとを選ばせていただいております。

ページめくっていただいて、プランBがまるくる大野です。細川委員より提出していただきました。ありがとうございます。

まるくる大野は、もともとは大野市民センター、大野体育館、大野図書館で、子育て支援機能が加わった複合施設ということで、2023年3月、昨年3月に開館しております。図書館もある、子供たちが遊ぶスペースもある、また、発表したりステージというところもあるということで、複合施設の1つの参考事例というところで御提案をいただきました。

あと、私、個人的にここに行かせてもらったんですけど、施設の予約等もLINEを使って、クラウド上で見られるようになるということで、先進的な取り組みをされているということもありましたので、最初、会議の中で、うちの班だけじゃなくて、近いのでみんなで行けたらいいのではないかというアイデアもあったんですが、一応こちらのほうで

選定させていただいております。

次が、小出委員に提案していただいた道の駅豊平どんぐり村になります。こちらは、最初スポーツ体験型という道の駅のコンセプトが発表されてから、近隣で参考にされてるところで、この道の駅豊平どんぐり村の名前が度々出てきたと思うんですが、実際に食事・温泉・宿泊施設というのが完備されています。フットサル場やトレーニングジム、プール、アリーナ、野球場など、スポーツ施設だけじゃなく遊具施設、そして神楽などのその地場のイベント企画というの也被されてるところで、スポーツに関連したところでの非常に人気のある道の駅ということで、提案していただきました。

なので、このまるくる大野・道の駅豊平どんぐり村がプランBで、1日で回れたらなというところで、今、御提案いただいております。

概要になるんですが、補足等がありましたら、中野班の委員、よろしくをお願いします。

○小田上委員長 補足は特にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 それでは、末広班からの質問がありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 それでは、挙げていただいたんですけど、山口方面でいけば長門市、萩市、周防大島町、阿武町、周南市、岩国市。それで、広島県だと廿日市市佐伯・大野、北広島町、この辺りかなというところです。

中野班のほうでは、行程を含めてA、Bというプランを挙げていただきましたが、挙げていただいた中で、今どういうところがポイントで、こういう点がいいのではないかと説明をしてもらいました。

なので、例えばですけど、広島班、山口班に、広島県と山口県に分けてしまうという手もあるのかなと思います。どのように進めるのがいいかなと。少し両班長からありました、廿日市市と岩国市に関しては全員で聞きにいてもいいのではないかと、という声もあったというようなこともありました。どうするのがいいと思いますか。これだけ挙げていただいて、何かありますか。どう進めていくのがよさそうですか。

末広委員。

○末広委員 進め方というか、山口県、広島県で分けるんだったら、山口県のほうはかなり移動範囲が広いなとは思ったので、萩市のほうになると、さすがにほかのところとまとめてというのはなかなか難しいので、広島県だったら例えば周防大島町まで含めるかとか、周南市まで含まれるか、そういう考え方をしなくてはいけないのかなと思います。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

考えていただく中で、両班とも、自分たちが行くとしたらこの範囲でこのルートだよなという考え方はされてるのではないかなと思います。

手法として2つあって、このまま出していただいたところで日程を決めて行って、班が動く。もしくは、一度地図上にプロットしたりとかして見て、その範囲で、この辺りを担当してくださいという方法も1つあろうかなと思うんですけども、前回の委員会では地

理的な部分も兼ね合いを見て、ひとまずテーブルに上げてもらって行き先を決めましょうという話もしてました。いかがですか。

プロットしてというか範囲を見て担当を決めていく、もしくは、提出された班のところ
が視察をしていく。どっちがいいですか。

中野委員。

○中野委員 ありがとうございます。中野班では、基本的に各委員がここに行きたいという
ところを基に、プランA、プランBと立ててますので、基本的にはまずここから当たって
いきたいというのは、私個人としては思ってます。そこで難しいようであれば、末広班の
中にあるところからアイデアをいただいたりという次の考え方になるのかなというところ
なので、一応中野班としては、プランA、プランBと立ててますので、まずそこから当た
ってみて、次のアクションかなというふうに考えてます。

○小田上委員長 ありがとうございます。

そのような御意見がございました。他に意見がございましたか。

末広委員。

○末広委員 うちの班で挙げさせていただいている近隣のところは、そこまで重く考えなく
てもいいのかなと思って。これが必要か必要でないかは議論しなくてはいけないと思いま
すけど、話が聞けるんだったら、あちらに当たってもらって、見に行ってもいいですけど、
どういう運営をされてるのか、お話しえ聞ければいいのかなと思ったりもします、正直。
なので、そういうことが可能かどうか。近隣はですね。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

今、末広委員のところと拾うとすると、中野班の説明であったまるくる大野とか、近隣
でいけば、あと岩国市辺りは全員で行っても知れてるかなというところかなと思いま
す。プラスでいくと、道の駅萩しーまーとは両班から意見が出てるところでもある
ので、ここもひとつ全体で行けたらいいのかなと思うようなところではあります。

なので、どうしましょうか。道の駅萩しーまーとは両班行きたいというふうな思いを出
されてますけど、ではちょっと順を追って。

まず、岩国市と廿日市市佐伯、廿日市市大野のまるくる大野に関しては、全員で行けな
いかどうかという当たり方を、委員長と副委員長で試してみてもいいですか。

副委員長、よろしいですか。

副委員長。

○細川委員 現地に行くということですか。それとも、座学としてこっちに来て説明いた
だけようだったら、それも視野に入れるということですか。

○小田上委員長 ありがとうございます。両方視野に入れつつ、ただ、お話を伺うという立
場なので、来ていただくというのはなかなか難しいかなという点があるので、基本的には
伺うということになるかと思えます。

基本的には座学になればいいかなというような考え方でいいのかなと思うんですけど、
せっかくだら行くだらもちろん見てもいいですし、そのようなところで、この近隣はそ

う当たってみようかなと思うんですが、よろしいですか。

あとは、そうなると道の駅萩しーまーとの取り合い。

中川委員。

○**中川委員** 1日、日帰りで回るわけですよ。だったら距離と時間とを考えると、道の駅センザキッチンに行くんだったら午前中、9時に出て、昼に着けばいいかなと。そこで1時間、昼食も兼ねて1時間半話を聞いて、見学して帰る。その帰りに道の駅萩しーまーとに寄れば、ちょうど時間的にいいのかなという感じで頭の中にあるんですけど、それをやると、よく行って1日2か所、行って帰ればいいかなと思うんですよ。

だから、距離と地域的なことを考えると、あっち行って、またこっちという流れなので、そこを考えたら、やっぱり道の駅萩しーまーとと道の駅センザキッチンで、こっちの山陽のほうのどこか、道の駅サザンセトとうわか道の駅ソレーネ周南かというふうに分けたほうがいいのかと思います。

○**小田上委員長** ありがとうございます。道の駅センザキッチンと道の駅萩しーまーとで一班で、あとは道の駅ソレーネ周南と周防大島町で一班ぐらいですか。周南市と周防大島町だったらちょっと距離があるかなという気がしますが、必ずしも2か所行かないといけないというわけではないかなとも思いますので、その中で決めていけたらと思います。

あと、1点だけ。以前の委員会で、委員で乗り合わせてみたいな話をしたかもしれませんが、いろいろ整理した結果、事務局が随行で車を出してくれて行くという形になりますので、その辺りはお願いします。なので、どなたか委員の車を出すとかそういうことはないということで、整理をするとそうになりました。

中野委員、どうぞ。

○**中野委員** なので、今のルートでいくと、例えばですけど午前中一番に道の駅萩しーまーとに両班で行って、2つ目はそれぞれ、中野班だったら道の駅センザキッチン、末広班だったら、帰り道で言うと道の駅ソレーネ周南を通るんですかね、ルートの。ごめんなさい、確認しないと。高速は通りますよね。だったら、両方でアポを取る回数とかもどうなのかなというところでした。そういう方法もあるのかなと思います。

○**小田上委員長** ありがとうございます。

この場で詳しいところをがっつりと決めるというのが、実際に地図を見ながら、距離を見ながら話し合ったほうがいいにはいいんでしょうけど、中野班、末広班が視察に行けそうな日を教えていただけますか。それで、それに合わせて日程、場所の割り振りが変わるかもしれませんが、委員長、副委員長のほうで割り振り決めても大丈夫ですか。そのほうがスムーズに行けるかなと思います。

それで今、中野委員に提案いただいた、道の駅萩しーまーとに両班で行って分かれるとかという可能性も、ゼロではないかなというふうに思います。

副委員長、どうぞ。

○**細川委員** 私は道の駅萩しーまーと、どちらも見たいという気持ちもすごく分かるんですけども、今回は何かもういろんなところを見るというのが1つのテーマにあったと思うので、行けなかった班は我慢することになりますけど、たくさん行けたほうが良いように

も思うんですけどね。

あえてこの道の駅萩しーまーとに全員で行くよりは、2つに完全に分かれれば1か所増えるわけですね。そのほうが経験値が上がるように思うんですけど、どうなのでしょうかね。皆さん、どうしても道の駅萩しーまーとに行かなくてはいけないというのであれば、みんなで行くようになるんですけど、そこはどうかと思ってます。

○小田上委員長 藤川委員。

○藤川委員 ルート次第だと思うんですね。ルートを考えずに、末広班は行ってみたい、興味のあるところをチョイスしたので、地図上で今から押さえていくルート次第になってくるのかと思うんですけども、今の話を聞いてたら、1日では全部回れませんよね。

今委員長がおっしゃった、日程がいつがいいというのを調整するのに、1日だけで挙げるんですか、2日に分けて挙げるんでしょうか。何日ほど、どれぐらい考えていたらいいでしょうか。

○小田上委員長 行けそうな日は2日間続けて行くとか、泊りがけではないので、この日、もしくはこの日とか、複数挙げていただけたらありがたい。

それでは、ちょっと移動時間は長くなるけど、中野班が出してくれた道の駅センザキッチン・萩しーまーと経由と、あと、阿武町は遠いから複数というのは無理だと思うんで、道の駅ソレーネ周南と道の駅サザンセットとうわ、これが80キロメートルぐらいなので、行けなくはないかなと思います。このルートで何とかならないかなというあたりで、この2案ぐらいで調整していったいいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 ただ、これも受入先と職員の都合等いろいろありますんで、このとおりにならない可能性があるんで、そこだけは御了承ください。

なので、ひとまず案として、センザキッチンから萩しーまーとにかけてを中野班が担当すると。それで、道の駅サザンセットとうわと道の駅ソレーネ周南にかけて末広班が担当するという形で調整を進めるということによろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 それでは、休憩しますので、班員の日程の調整をしてもらえたらと思います。時間は区切らずに、暫時休憩いたします。

14時37分 休憩

14時48分 再開

○小田上委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

休憩中に、中野班・末広班ともに日程を調整していただきまして、皆様お忙しいということがよく分かりました。ちょっと日程が合わないので、末広班に関しては8月に前半の視察ということで、そのつもりで視察に行っていて報告を受けると。それで、9月は市議会定例会、10月は決算特別委員会があります。その後に中野班で、後期の視察というところをお願いしようかと思えます。

候補日としては、末広班が8月13日火曜日、16日金曜日、21日水曜日。基本的に行政関連のところはお盆は関係なくて、カレンダーどおりですが、職員は休みを取らないといけ

ない等ありますので、対応が難しい可能性もありますので、複数挙げておるといふところ
です。

中野班は11月1日金曜日、7日木曜日で調整していきたいと思います。相手方やルート
等もございますので、今挙がってるものの中から効率よく受入れが決まるといふところ
をお願いしようと思います。その調整は一義的には事務局が調整してくださって、どう
しましょうとなったときには、判断は委員長、副委員長に任せていただきたいと思います
が、よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 ありがとうございます。

先ほども触れましたけど、車は事務局職員の運転での移動です。あとは、今、両班から
出ました座学的な勉強といふところも決めていきたいんですけども、次回の、これも視
察のお願いにはなるので、ある程度いとまを要するかなと思います。それを委員会の開
催日としてやるといふのが1つの手かなと思います。

委員会を開催して、それから岩国市役所か廿日市市役所に行くといふような形が1つか
なと思うんですけども、8月の間で、次回の委員会、勉強会込みで行けそうところ。
御多忙なところはよく分かっております。これも調整に時間が要するといふので、暫時
休憩いたします。

14時52分 休憩

15時07分 再開

○小田上委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

休憩中に、勉強会も含めた次回の委員会の開催日程の調整をしました。7月は議会報告
会があって、8月はもちろんいろいろ行事がある月ですので、皆さん忙しいと。勉強会に
ついては10月1日火曜日、4日金曜日いずれかの午前中をお願いできないかといふところ、
ひとまず岩国市役所、総合体育館のほうに話をしてみたいと思います。これに併せて廿日
市市のほうも声かけをしていきたいといふので、その調整は委員長、副委員長に任
せていただいてよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 日程を、いつの段階かでお示しできればと思います。

それで、末広班が8月に視察、中野班が11月に視察ということになります。7月に關し
ては、今から事務局のほうにちょっと骨を折っていただくことにはなりますが、視察先が決
定次第、質問事項といふものを挙げていかないといけません。

これは前半・後半で視察メンバーが違ってよかった点で、皆さん、質問事項は考えられ
ると思うんですね。なので、場所が決まりましたといふところで案内をしたら、そのとき
に期限を区切りますので、視察に關しての質問事項を挙げていただくようお願いいたし
ます。

ただ、次回の委員会を開くいとまがなかなかないので、7月中の議会報告会があります。
8月もかなり詰まっておって、末広班は視察に行くといふことですので、次回の委員会は
9月の定例会中です。ただ、それまでに皆さんには日程が決まり次第お伝えをして、宿題

としては、その日程が決まった視察先の質問事項を出していただくというのはお願いしたいと思います。それを基に、8月に末広班が視察に行って、9月定例会中の委員会で報告ということをやりたいと思います。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長　なので、次回の委員会は9月ですが、活動してない月はありませんので、お間違えのないように。皆さん仕事がそれぞれありますので、通知を見逃さないようにお願いいたします。

それでは、以上で日程1、視察先についてを終了いたします。

日程2、その他に入ります。

これまでの進め方等で、以前もありました、視察は何のために行くんだろというところ、消化し切れてないところは毎回消化していただいて、しっかり次につなげていきたいと思います。何かございましたら、御意見お願いいたします。

豊川委員。

○豊川委員　委員長、すみません。これ、事務局にちょっと聞きたいんですけど、委員長を経由して聞いたほうがいいんですかね。

○小田上委員長　内容によりけりですけど、どうぞ。

○豊川委員　以前、教科書道の駅という本があったと思うんですが、事務局が恐らく取り寄せてくださったのではないかなと思うので、すみません、ちょっと委員長から御確認をお願いします。

○小田上委員長　これは事務局に全く不手際はなくて、教科書道の駅を事務局に手に入れていただいております。毎回言おうと思って忘れていました。入ってます。大変申し訳ないです。

企画財政課のほうで以前説明いただいた教科書道の駅、あれは今、事務局隣の図書室にありますので、参考にしていただければと思います。豊川委員、ありがとうございます。失念してました。

ほか、ございますか。助かります。そういうふうに忘れてることを言っていただければ。

それで、7月は執行部からの報告は特にないようなので、8月はなかなか委員会開催が難しいので、9月定例会では執行部のほうに来ていただくように依頼をかけたいと思いますので、よろしく願いいたします。

ほか、ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長　皆さんほかの委員会もあって、決算も控えております。忙しいと思いますが、よろしく願いいたします。

それでは、日程2は終了いたします。

以上で全ての日程が終了いたしましたので、小方まちづくり特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

15時13分　閉会